中活　観光・交流　アメニティ

ばんだいばししゅうへん

萬代橋周辺地区

（新潟県新潟市）

○ 計　画　期　間　平成 25 年度～平成 29 年度
○ 面　　積　152ｈａ
○ 交付対象事業費　1,402 百万円
○ 人口　776,468 人

ポイント　都心軸と自然軸が交差する「萬代橋」周辺ならではの魅力を活かした”まちなか空間”の創出

地区概要　国の重要文化財「萬代橋」とその周辺における良好な公共空間を活用しまちなかで楽しめる空間を創るとともに、信濃川の自然や水辺を活かした景観づくりや環境整備を進めます。

目　　標　大目標：都心軸と自然軸が交差する「萬代橋」周辺ならではの魅力を活かした“まちなか空間”の創出

目標１：まちなかと信濃川、みなとを結びつけ、回遊性の高い歩行者空間を創る

目標２：萬代橋周辺の公共空間を活用し、新たなにぎわい空間を創る

目標３：信濃川が育む良好な景観と開放感のある水辺空間を創る

指　　標

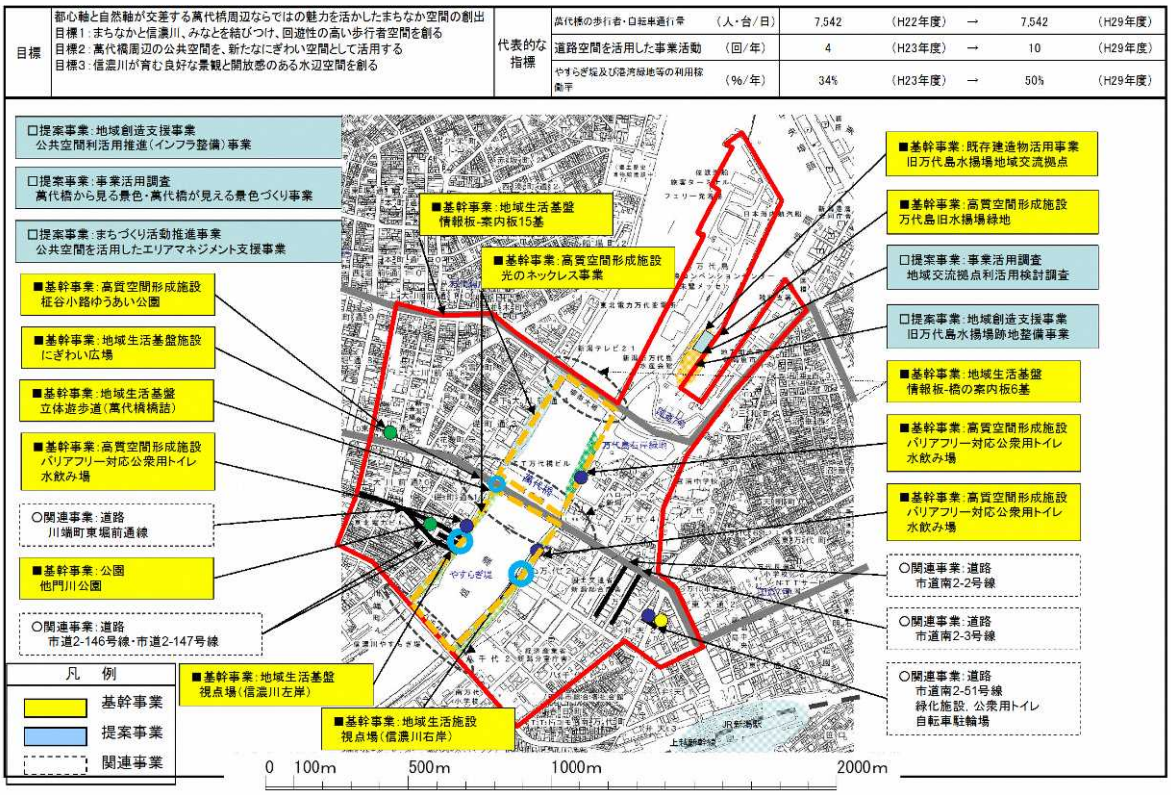
にぎわい空間創出の観点から、歩行者・自転車通行量の他，公共空間である道路及びやすらぎ堤（堤防）の活用回数や稼働率も評価指標として設定している。

萬代橋の歩行者･自転車通行量（人･台/日）	7,542	(H25)	→	7,542	(H29)
道路空間を活用した事業活動回数（回）	4	(H25)	→	10	(H29)
やすらぎ堤の利用稼働率（%）	34	(H25)	→	50	(H29)

事業内容

基幹事業（１，５６２百万円）　→　視点場（2 箇所），にぎわい広場（1 箇所），
情報板・案内板（21 基），公衆用ﾄｲﾚ（4 箇所），地域交流拠点（1 箇所）

提案事業（　　１５５百万円）　→　公共空間利活用推進事業，
公共空間を活用したエリアマネジメント支援事業，
光のネックレス事業
萬代橋から見る景色・萬代橋が見える景色づくり事業



萬代橋周辺地区整備方針概要図

完了地区　新潟県

地区の現況と課題

地区の現況

萬代橋周辺地区は、信濃川に架かる萬代橋・やすらぎ堤を中心に、上流は八千代橋、下流は柳都大橋や万代島のみなとエリアを含む信濃川両岸沿いに位置する市街地である。

中心市街地や都心軸の核となる当地区は、更なる活性化・にぎわいの創出が喫緊の課題となっており、良好な空間を活用・保持する取組や移動利便性・回遊性の向上など、萬代橋周辺に訪れやすい環境整備が求められている。

地区の課題

○萬代橋周辺の回遊性・快適性の向上に向け、歩行者や自転車の利用促進や動線確保、ゆとりある歩行空間の創出が求められる。

○歴史や文化、自然が融合した、新潟市を代表するブランドの構築と良好な景観と環境を守り育てる必要がある。

○まちなか再生に向け、都心軸に新たなにぎわいと活力を創り出し、交流人口の増加を図る必要がある

○都心軸の拠点性向上と市内各地区との連携を強めるため、都市交通の円滑化や交通結束機能の向上を進める必要がある。

信濃川河口部より上流を望む

萬代橋周辺の公共空間

提案事業の特徴

公共空間を活用したエリアマネジメント支援事業

河川・道路・港湾などの公共空間を活用した賑わいづくりのため、民間事業者との連携によるエリアマネジメントの支援を行う。

公共空間利活用推進（インフラ整備）事業

公共空間を活用した賑わいづくりのため、必要となるインフラ施設（電気，上下水道など）を整備する。

萬代橋から見る景色・萬代橋が見える景色づくり事業

快適な都市空間を守り、開放感のある都市景観の形成に向け、萬代橋から見る景色を守る仕組みと、萬代橋が見える景色を創るため、視点場や回遊動線、また、景観ルールづくりなどの計画策定を行う。

萬代橋サンセットカフェの様子

計画策定プロセス

萬代橋周辺まちづくり協議会の設立（H24.5～）

萬代橋周辺に関わる市民団体や事業者、商店街、行政が連携し、萬代橋周辺ならではのエリアマネジメントを推進する組織を設立。

萬代橋周辺の魅力を活かした景観づくりや賑わいづくり、環境整備などを任務に掲げ、地域の課題をクリアするための様々な活動を進めることとしている。

萬代橋周辺まちづくり協議会の様子

第１４回 2011 まちの活性化・都市デザイン協議の実施

萬代橋周辺地区を対象地区として、「新潟の都心軸と信濃川の水辺空間が交差する”萬代橋”周辺の魅力を活かした都市デザインの創出」をテーマに、萬代橋や信濃川を活かした新たな魅力づくり、周辺と連携した賑わい・回遊空間の形成、良好な景観形成等のための様々なアイデアと都市デザインについて、全国から提案を募集した。

国土交通大臣賞「NIIGATA Central park」より